

日本をキリストへ 協力

24

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1
TEL 03-3296-1001

神よ。志をたてさせたまえ

伝道団体連絡協議会会長 羽鳥 明

「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。」

ピリビ二・一四

「伝団協」は、伝団協でなくては出来ない、しかも時代のニーズにぴったりの、いくつかの優れた仕事をさせていただいてまいりました。本田弘慈前会長の卓抜柔軟リーダーのよき協力の賜物と感謝しております。

本田前会長のご要望に抗しきれず、微力な者が皆さまに押されて会長職につきました。エリシャがエリヤのマンントを天から受け取ったのごとき、真正な後継者でありませんので、有能な委員会の実行力にお任せしている次第です。

しかし、今までの懸案というか醸成されてきたヴィジョンというべきか、次の二つのポイントとその実践については、御霊の並々ならぬ指導推進を必要とし、会員のさらなる結束一致、協力が必要であることを覚えていきます。

(1) 「パラチャーチとは何かの的確な把握」。伝団協が、キリストの体なる教会の存在目的とその使命との的確な関連において、自らの分をわきままり、その立場を超えた働きをすべ

きでないことを前提としつつも、伝団協の立場の特殊性を活かし、教会の成長と宣教の使命達成のため、積極的に参与すべき使命と目標をはっきり把握すべきです。

(2) 我が国にリバイバルの期待が高まり、主の聖手をあちこちに見せていただいている今日、伝団協として、全日本の宣教の大前進と、教会拡大のため、来るべき紀元二千年を画期的な年とすべく、目標を共有して前進すべき一代活動、一代協力の態勢に、積極的に実戦的に寄与すべく、祈りと学習と協議を重ねるべきことです。

最近、日本のクリスチャン人口、教会数、教職数も、過去四十年の間に、四倍、四・五倍に倍加していること。ことに聖書信仰に立つ福音派の勢力は一五%から八〇%以上へと拡大している統計について知らされ意を強くされています。

隣国韓国の成長率にも匹敵するものです。たりない点は、総数での実力です。たりないのは、教会を挙げての祈りの集中と、韓国では過去十年間に三回も実施された全民族総福音化運動のごとき結束と協力ではと思われまます。

伝団協も、ピリビ二・一三、一四の恵みに立たせていただきたいものです。

福音主義医療関係者協議会(EMF)

〈連絡先〉〒113 東京都文京区本郷2-1-1

順天堂大学医学部衛生学教室内 EMF会長 稲葉 裕

☎03-5802-1046

FAX03-3812-1026

福音主義医療関係者協議会は、福音的信仰を持つ医療関係者の集まりです。医療関係者には、医師、看護婦だけでなく、広く病院関係の方々および学生をも含んでいます。

目的は、互いの信仰を深め、専門技術や知識を学び、世界的視野に立った福音伝道に協力していくことです。一九六九年に発足し、二十四年目を迎えています。会員は購読会員を含めて、約二百人です。

主な活動として、①年一回の総会。最近の三年間は、学生の医科系聖書研究会と合同で実施しています。本年は山形大学の主催で八月二―五日に行われました。(写真参照)

② 国外研修。九年目が終わりました。

③ シンポジウムの開催。今年は春と秋の二回、いずれも東京で実施。その他地域での集会があります。

また、それぞれの活動報告を中心に、年三、四回「EMFジャーナル」を発行しています。

今年も、二年に一度の常任役員の変更が行われ、十五人の委員が選出されました。新しい委員が霊肉ともに強められ、主の御旨にかなった活動をしていくことができるようお祈りください。



全国家庭文書伝道協会(EHC)

〈事務所〉〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1-0005F

☎03-32233-0921

FAX03-32233-0922

「すべての家庭に福音を」という大目標の遂行をめざして、トラクト伝道一筋にEHCの働きがなされて、今年創立四十周年を迎えます。

三人の宣教師の涙と祈りによって生まれたEHCの活動も、今では世界五十三ヶ国に及んでいます。現在、特に教会のない、福音の届きにくい地域に対して、重点的に配布を進めております。毎年春と夏にはボランティアと共に、一週間泊まりがけで配布に出かけるパイオニア伝道も実施しています。

トラクトを読んで興味をもたれた方や、反応を寄せてくださった方には、キリスト教入門の小冊子を送り、また、聖書通信講座をお勧めしています。この講座を通して、たくさんの方が主のもとへと導かれてきました。

戸別配布(写真) EHCの原点とも言えますが、各集会などで自由に使える一般トラクト——子どもから老人に至るまで——を製作し、皆様のご要望にお応えしています。

全国の祈りのメンバー(約千人)と、協力教会(約三千三百)の祈りと献金によって、EHCの働きは進められています。トラクト配布推進はもちろんのこと、毎年一回「祈りのカンファレンス」を行うなど、祈りの運動にも力を入れています。また祈りのテキストも製作し、用いられています。

トラクト伝道は、配布する人だけではなく、祈る人が必要です。経済的にサポートして下さる方が必要です。ぜひ、あなたのお力をかしたいのです。



ミクタムレコード株式会社

〈事務所〉〒160 東京都新宿区片町1番地 ダイアビル4F
TEL 03-3358-0891
FAX 03-3358-5218

一九七八年七月二十五日、音楽を通してイエス・キリストの福音宣教のために設立された。音楽界から救われた小坂忠、高叡華夫妻を中心に多くのクリスチャン音楽家、教会教役者、各種伝道団体、音楽関係者たちの支援、協力、祈りにより教派を超え、教会に仕えることを旨とし、日本のリバイバルを目的に働きは全日本から海外にも広がっている。今年十五周年を迎え、さらなる発展を祈り備えている。

主な活動。①ゴスペルコンサート開催。全国二十箇所以上、通算百を越えるコンサートを通して多くの若者がキリストとの出会いを体験し、救いを得ている。

②ミュージックセミナー開催。教会の音楽奉仕者、ソングリーダーの訓練と育成のため全国各地で開催（通算三十七回）。

③ゴスペルミュージック製作・販売。讃美歌、聖歌からクラシック、CCM、ワッシュアップソングまでCD、テープ、ビデオ、楽譜などを企画・製作・販売している。

④教会巡回コンサートおよび海外音楽宣教。小坂忠、岩渕まこと氏を初めとし、多くの音楽家たちをバックアップしている。

⑤集会やイベントのステージプロデュースおよび音響。国際的なクルセード等の制作に協力、また音響部の奉仕により教会の音響設計も実施。十月二十三日にユーオーディアコンサート、十一月に仙台他で出会いのコンサートを開催。



クリスチャン新聞

〈本社〉社 下101 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC内
TEL 03-3291-8524
FAX 03-3233-4564
〈大阪支局〉TEL 06-348-0562

生きたニュースを通して、生きた福音を伝えることを目的としてクリスチャン新聞は一九六七年に創刊しました。従来の単行本や月刊誌による文書伝道活動に加え、週刊でしかも新聞タイプの新しいキリスト教文書が、日本のクリスチャンの信仰生活に、祈りにならなっただけの資料を提供し、その世界大の視野に立った報道の在り方が、時代的な要請に応えるものとのビジョンが背景にありました。

創刊に当たり、福音的信仰に立つ教会に適切な情報を提供し、教派、教団を超えた公器としての使命を確認しました。そのため、その編集の方針として、当初から聖書信仰の確立をかけた、その視点に立って、ニュースを集め、解説、分析し、日本の教会の宣教の課題に益する事を目指してきました。

具体的には、すべてのクリスチャンに豊かないのあるニュースを提供し、世界のあらゆる場所で起こっている神のみわざと、福音の証しを一週間という教会生活のサイクルにそって届けます。そして、教派教団の壁を超えて、紙面が互いを理解し、協同の宣教の働きに一つとなるための理解の広場となることを願ってきました。言い換えるなら、掲載された記事の一つ一つが事実を知ることになることなく、それが宣教のとりなしの祈りとなっていくための働きでありたいとの願いがあります。

また、伝道新聞としての使命を果たすため、別刷の月刊「福音版」「らみい」も発刊するようになりまし。

6月11日、12日

第7回伝道団体連絡協議会 フェスティバル開催 「あなたのクリスマスチャンライフを応援します」

第七回フェスティバルが、6月11日(金)、12日(土)に東京・御茶の水クリスマスセンター(OCC)で開かれました。テーマは、「豊かな信仰生活のパートナー 93 伝道団体フェスティバル——あなたのクリスマスチャンライフを応援します——」です。

今回は十の講演会・研修会・世界宣教の夕べやコンサート等とバラエティに富んだ催しが各加盟団体の主催で行われ、あっちの講演会にも出たか



ったのに時間が同じで出れなかったとの声が出るほど好評で、ほとんどの会が主催者の思いを越える多くの方が出席していました。フェスティバルは、まず8Fチャペルに一杯の人々を迎えて、伝道協主催の婦人講演会「母と娘の賛歌——お母さんふりかえって」(講師・福沢圭子師)で感動の内に始まりました。

OCC8Fでは、恒例の各伝道団体による展示コーナーが設けられ、伝道に役立つ各種の情報が提供されました。9Fでは、バザーコーナーがあり、各伝道団体の書籍・カセット・ビデオなどが格安で販売され喜ばれていました。

また、当日配布用に各伝道団体の紹介を載せたパンフレットを作製しました。まだ残部がありま

第9回 定期総会報告 新会長に羽鳥明師

一九九三年四月二十日、OCC4F会議室において第九回定期総会が開催されました。出席団体二十六、委任状提出団体十一、合計三十七団体で総会が成り立ちました。

第一部礼拝では、羽鳥明師が「神の愚かさ」と題してメッセージされました。十字架の愚かさ、選びの愚かさ、宣教の愚かさの三点から、「キリストが我らのプライオリティーでなければならぬ」と強調されました。

第二部 総会

一九九二年度活動報告(二泊研修会、常任役員会、機関紙「協力」の発行等)、一九九二年度会計報告、役員選出がありました。新役員は以下の通りです。

顧問 岡村又男、堀内 顕
名誉会長 本田弘慈
会長 羽鳥 明

副会長 原 登、K・マクビティ・村上宣道
役員 鈴木留蔵、岸田 馨、堀井雅夫、
滝元 明、多胡元喜

常任役員 渡辺佐次郎、岩崎喜太男、浅見鶴蔵、
岩本信一、鈴木 繁、鈴木優子、
片岡伸光、柳沢 清

会計監査 辻岡健象、聖書協会より一名
そして一九九三年度活動計画が以下の通り決まりました。二泊研修会(九月六日～八日)、新年情報交換会(一九九四年二月)、「協力」の発行常任役員会の年五～六回の開催。

二泊研修懇談会のご案内
まだ間に合います。
急いで申し込みください。

二泊研修懇談会も今年で九回を迎え、九月六日～八日に軽井沢・恵みシャレーで開催されます。詳しくは、既にお手元にお送りしております案内をご覧ください。まだ間に合います。ぜひ、お申し込みください。

発行日 一九九三年八月三十日
発行者 羽鳥 明
編集者 鈴木 繁